



LIXIL 把手セット(S型 手動プッシュグリップ) 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。
 ※商品により、シリンダー形状、オーナーキーの有無は異なる場合があります。

■梱包明細

※取付け前に必ず梱包内容をご確認ください。

■把手セット

名称	入数	詳細
外側把手	1 個	※シリンダーカバー(上下)は組込み済みです。
内側把手	1 個	—
把手取付け部品	1セット	内側台座カバー／2個、皿小ねじM5×25／4本
箱錠セット	1セット	箱錠／2個、ラッチ箱錠／1個、皿小ねじM4×16／6本(鋼板ドア用)、皿タッピンねじφ4×12／6本(アルミドア用)
サムターン・セキュリティサムターンセット*	1セット	サムターン／1個、トラス小ねじM5×45／2本(頭部塗装付き)、セキュリティサムターン／1個、サムターンキー／2本、サムターン座／1個、トラス小ねじM5×45／2本(頭部塗装なし)
取付け説明書	1 枚	—
お施主さま用取扱い説明書	1 冊	袋入り

*1 防火戸シリーズの場合、セキュリティサムターンセットが2セットになります。
 ドア厚60mm用の場合、トラス小ねじの長さがM5×65になります。

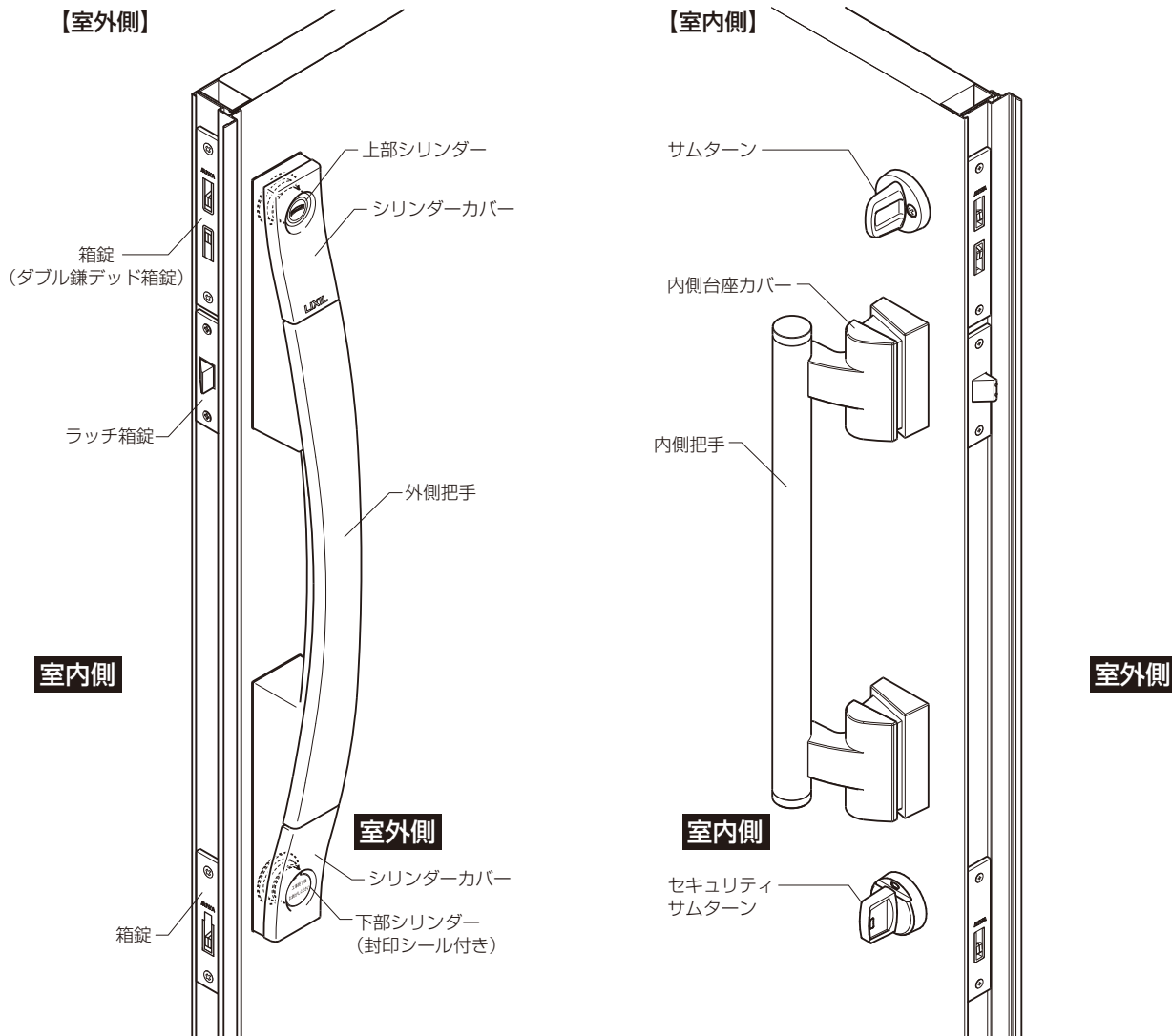
■固定把手セット ※両開きの場合のみ

名称	入数	詳細
外側把手	1 個	※シリンダーカバー(上下)は組込み済みです。
内側把手	1 個	—
把手取付け部品	1セット	内側台座カバー／2個、皿小ねじM5×25／4本

■別途手配品

名称	入数	詳細
シリンダーセット	1セット	シリンダー／2個、オーナーキー／1本、子鍵／4本、工事用キー(コンストラクションキー)／3本

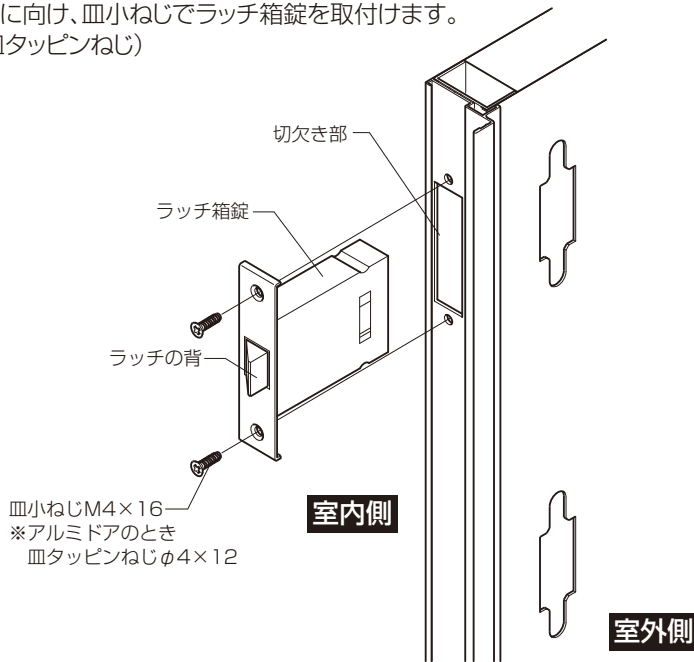
■取付け完成図



■取付け順序

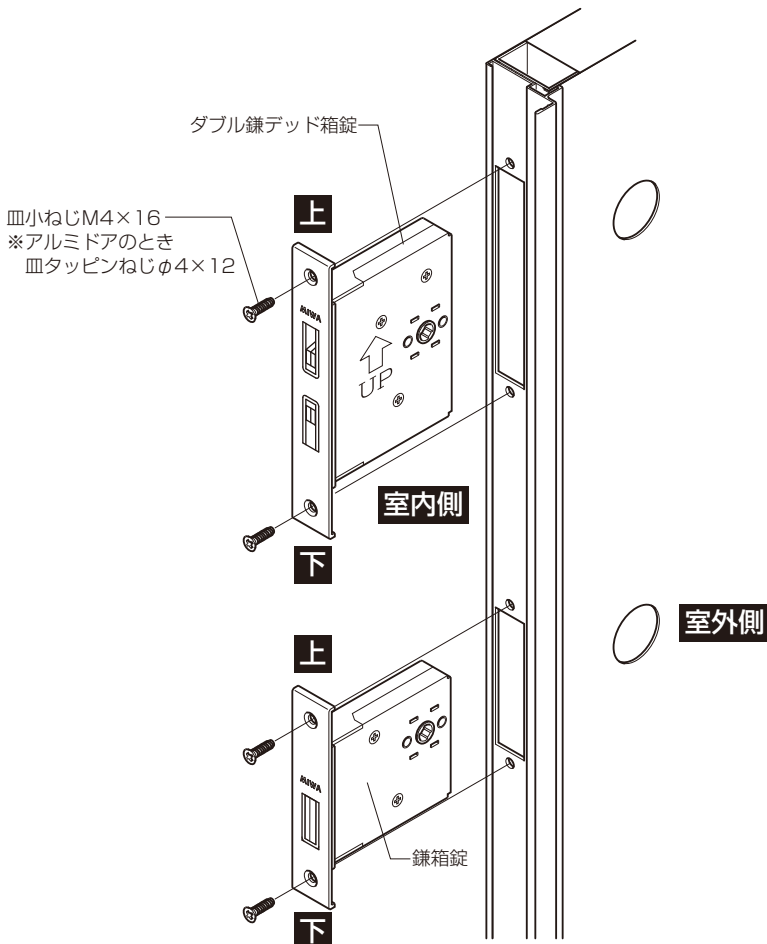
1 ラッチ箱錠の取付け

- ラッチの背を室外側に向け、皿小ねじでラッチ箱錠を取付けます。
(アルミドアのとき皿タッピンねじ)



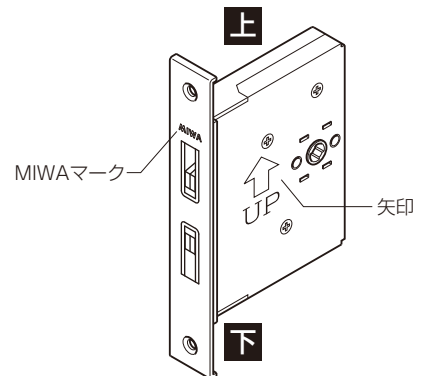
2 箱錠の取付け

- ①ドア上部の切欠き部に、ダブル鎌デッド箱錠を皿小ねじ(アルミドアのとき皿タッピンねじ)で取付けます。
※側面の矢印に従い、上下を確認して取付けてください。(下図「箱錠の取付け向き」参照)
※商品により、鎌箱錠を使用する場合があります。
- ②ドア下部の切欠き部に、鎌箱錠を皿小ねじ(アルミドアのとき皿タッピンねじ)で取付けます。
※鎌箱錠は「MIWAマーク」を上にして取付けてください。(下図「箱錠の取付け向き」参照)

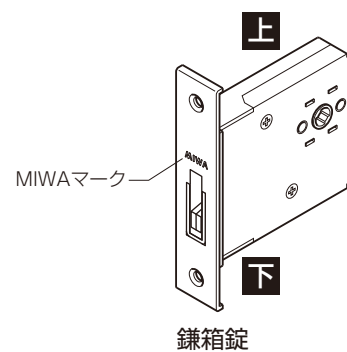


■箱錠の取付け向き

- ※MIWAマークの位置、または側面の矢印で上下を確認して取付けてください。



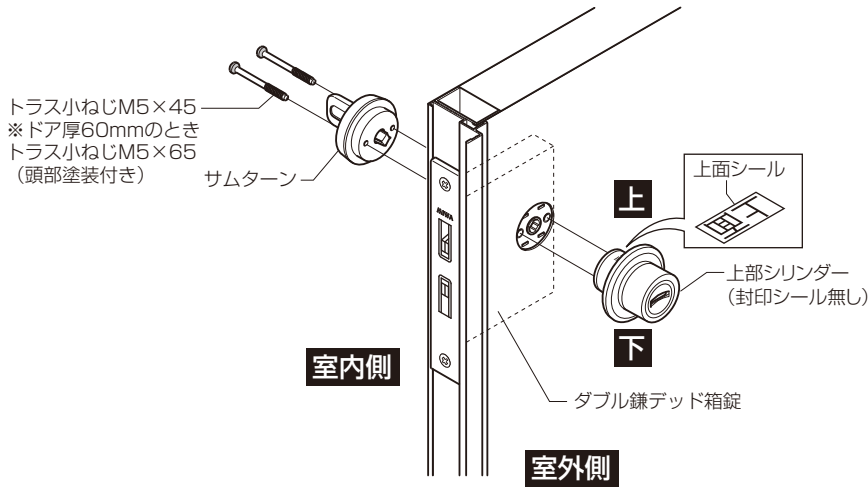
ダブル鎌デッド箱錠



鎌箱錠

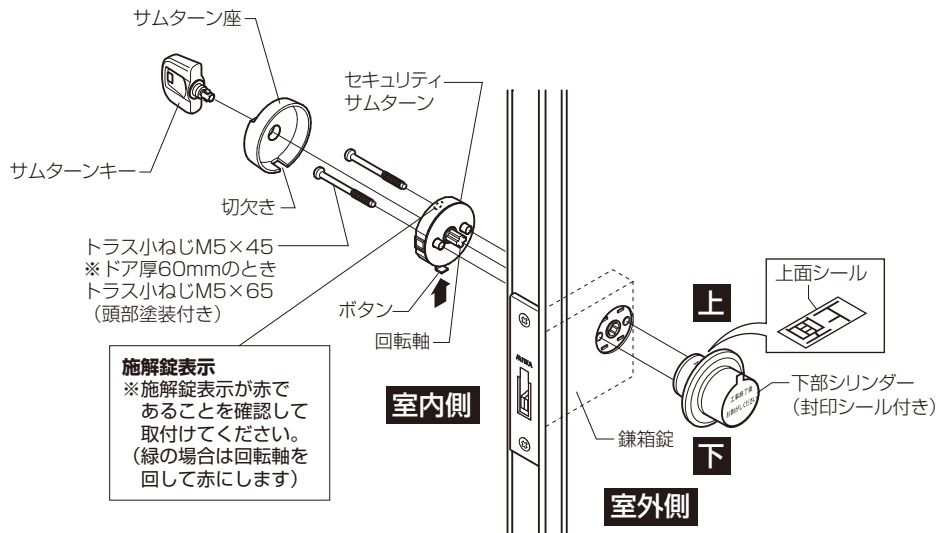
3 上部シリンダー、サムターンの取付け

- ①上部シリンダー(封印シール無し)の上面シールを上に向けます。
 - ②シリンダー背面の引っ張り(4カ所)を、ダブル鎌デッド箱錠(上部箱錠)の角穴に合わせて差込みます。
 - ③サムターンをトラス小ねじで上部シリンダーに取付けます。
- ※防火戸シリーズの場合、上下共にセキュリティサムターンを取付けてください。(4参照)



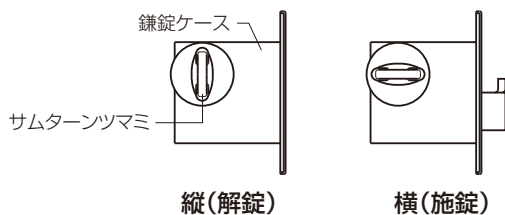
4 下部シリンダー、サムターンの取付け

- ①下部シリンダー(封印シール付き)の上面シールを上に向けます。(封印シール文字が読めるように上に向けます。)
- ②シリンダー背面の引っ張り(4カ所)を、鎌箱錠(下部箱錠)の角穴に合わせて差込みます。
- ③セキュリティサムターンのボタンを下に向け、トラス小ねじで封印シール付きシリンダーに取付けます。
- ④サムターン座の切欠きを、セキュリティサムターンのボタンの向きに合わせてはめ込みます。
- ⑤ボタンを上を押しながら、サムターンキーを差込みます。(ボタンが戻るとサムターンキーは抜けなくなります。)



■サムターンツマミの操作

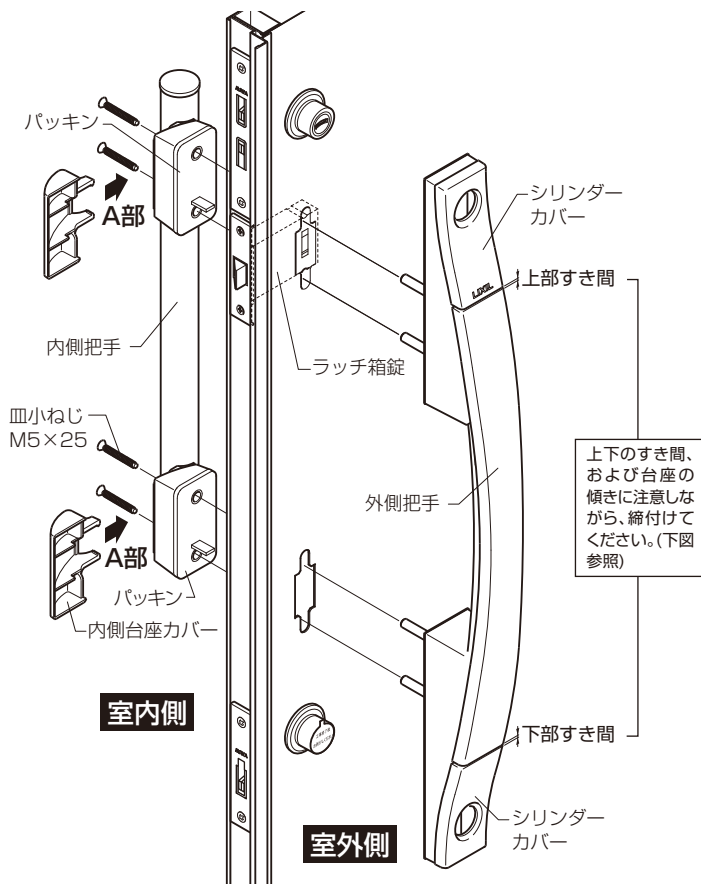
※サムターンツマミは縦にして取付けてください。



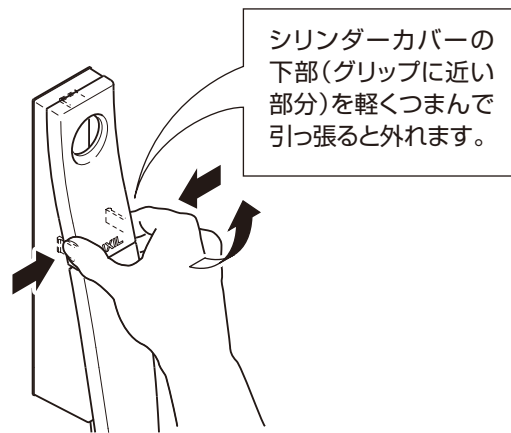
※セキュリティサムターンは施錠表示が、解錠時「赤」、施錠時「緑」になります。

5 把手の取付け

- ① 外側把手を室外側から差し込みます。(落下防止のため、②で固定するまで手を離さないでください。)
- ② 内側把手を皿小ねじで固定します。パッキンにズレ・ヨレがある場合は補正してから取付けてください。
このとき、下図に従い、外側把手の角度・すき間を調整しながら固定してください。(スムーズなラッチ解除動作を実現するため、把手取付け部には上下左右に若干の遊びをもたせてあります。)
- ③ 内側台座カバーを内側把手に取付けます。
- ④ 両開き子扉には、上記①・②・③の手順で固定把手を取付けます。

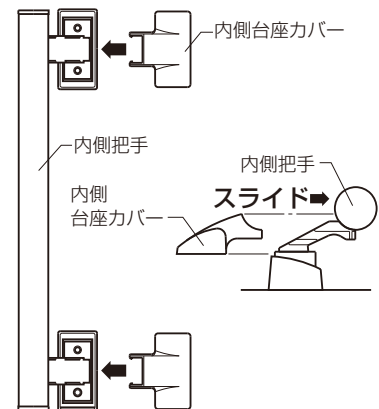


■シリンダーカバーの外し方 (メンテナンス時)

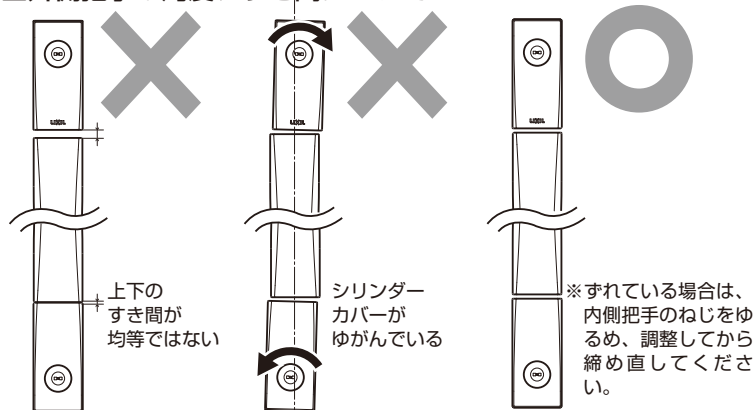


取付け時は逆の手順で、カバーを取付けてください。

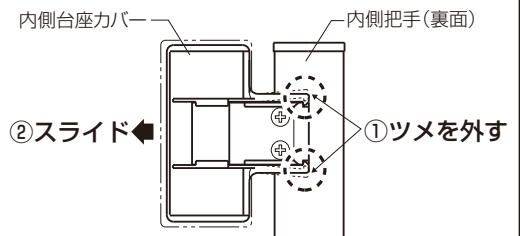
■内側台座カバーの取付け方 (A部詳細図)



■外側把手の角度、すき間について



■内側台座カバーの外し方



■コンストラクション装置について

- 封印シールが張られていないシリンダーには、コンストラクション装置が組込まれています。施工の際は、工事専用のコンストラクションキーをご使用ください。施工後、お施主さま専用キーを使用するとコンストラクション装置が解除され、以後はお施主さま専用キーでなければ開閉できません。
- 封印シールが張られているシリンダーには、コンストラクション装置が組込まれていません。

